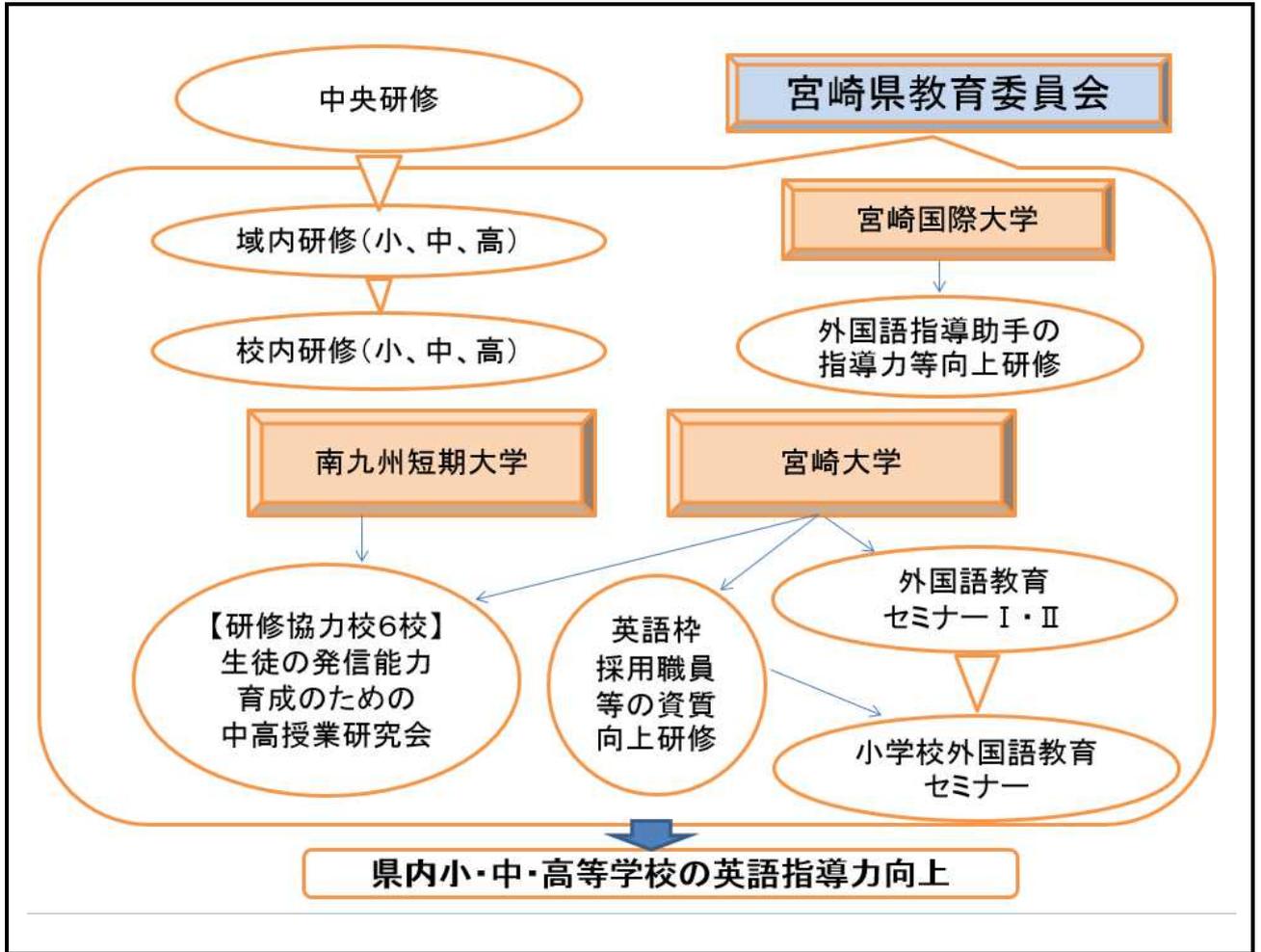


(様式3-2)

宮崎県英語教育改善プラン

実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

① 求められる英語力を有する英語担当教員の全英語担当教員に占める割合

【小学校】

ア 現状 ー

イ 目標 H29:ー、H30:ー

ウ 手立て 各試験団体が提供する特別受験制度の周知
域内研修受講者に対する教師の英語力を測るテストの受験推進

【中学校】

ア 現状 (英検準1級以上) 39.7%

イ 目標 H29:50%、H30:50%

ウ 手立て 各試験団体が提供する特別受験制度の周知
域内研修受講者に対する教師の英語力を測るテストの受験推進

【高等学校】

ア 現状 (英検準1級以上) 85.0%

イ 目標 H29:80% H30:90%

ウ 手立て 各試験団体が提供する特別受験制度の周知
域内研修受講者に対する教師の英語力を測るテストの受験の実施

② 求められる英語力を有する生徒の全生徒に占める割合

【中学校】

ア 現状 (英検3級以上) 41.3%

イ 目標 H29：50%、H30：50%

ウ 手立て 生徒の英語に対する興味・関心を高める授業を行い、資格取得への意欲を高め、英検の受検者を増やす。また、成果を上げている学校や地域の取り組みを研修等で紹介し、県全体として英語力の向上へとつなげていく。

【高等学校】

ア 現状（英検準2級以上）39.1%

イ 目標 H29：50% H30：50%

ウ 手立て 第3回域内研修において、研修参加者がそれぞれの学校で1～2回で学んだ研修内容を生かした授業実践報告を行い、特にリスニング、ライティングセクションの対策のため、授業改善に係る研修を充実させた。

<振り返り>

- ・ 中学校においては、各研修会での啓発等もあり、英検3級以上の取得率が上がった。
- ・ 高等学校においては目標に届かなかった。学校間で基礎力に差が大きくなっているため、学校訪問における指導助言や研修において、教員の指導力の向上を図る必要がある。

③ 「CAN-DOリスト」の形式で技能別に設定した学習到達目標の整備状況（（1）設定、（2）公表及び（3）達成状況の把握等の状況）

【中学校】

ア 現状 (1) 100% (2) 51.5% (3) 43.7%

イ 目標 H29：(1) 100% (2) 100% (3) 100%

H30：(1) 100% (2) 100% (3) 100%

ウ 手立て H30年度の研修協力校研修（CAN-DOリスト研修会）に全ての中学校から1名以上参加し、その際、各学校で作成したCAN-DOリストと活用・公表に係る報告書の提出を求める。

【高等学校】

ア 現状 (1) 100% (2) 44.4% (3) 55.6%

イ 目標 H29：(1) 100% (2) 100% (3) 90%

H30：(1) 100% (2) 100% (3) 90%

ウ 手立て 研修協力校研修において、次期学習指導要領を踏まえたCAN-DOリストの作成・活用のための公開授業、講話及び実際にCAN-DOリストを作成するワークショップを実施し、また県教育委員会からCEFRに準拠したCAN-DOリストの作成に関する説明を具体的に行い、3月中旬まで提出するように依頼。集約後、研修協力校研修（CAN-DOリスト研修会）、そして県立学校教育課程研究協議会において結果を報告し、公表と達成状況の把握について意識を喚起させる。

④ 授業における、生徒の英語による言語活動時間の占める割合

【中学校】

ア 現状 65.3%

イ 目標 H29：100%、H30：75%

ウ 手立て 域内研修やCAN-DOリスト研修会で、英語教育実施状況調査の結果について報告し、各学校の状況と比較させることで、各学校の指導上の課題を明らかにする。また、各研修会での、演習・協議を通して、生徒の英語での言語活動を充実させるための指導に対する参加者の理解を深める。

【高等学校】

ア 現状 43.1%

イ 目標 H29：70%、H30：50%

ウ 手立て 域内研修や研修会で、英語教育実施状況調査の結果について公表し、各学校の状

況と比較させることで、各学校の指導上の課題を明らかにし、授業改善につなげる。また、各校で作成した定期テストの問題、もしくはパフォーマンステストの問題を持参してもらい、参加者で検証を行う。

⑤ 「話すこと」及び「書くこと」における外国語（英語）表現の能力を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの実施状況

【中学校】 【高等学校】

ア 目標 指導と評価の一体化を目指したパフォーマンステストの導入推進

イ 手立て CAN-DOリスト研修会において、パフォーマンステストの在り方について、大学教授等と連携して講義・演習を行い、CAN-DOリストと関連したパフォーマンステストの在り方について理解を深める。

⑥ 授業における、英語担当教員の英語使用状況

【中学校】

ア 現状 66.7%

イ 目標 H29：100%、H30：70%

ウ 手立て 域内研修やCAN-DOリスト研修会で、英語教育実施状況調査の結果について報告し、各学校の状況と比較させることで、各学校の指導上の課題を明らかにする。また、CAN-DOリスト研修会の研究授業をもとに、英語を用いた指導の在り方についての演習・協議を行うことで、英語使用状況のさらなる促進につなげる。

【高等学校】

ア 現状 43.1%

イ 目標 H29：100%、H30：50%

ウ 手立て 域内研修や研修会で、英語教育実施状況調査の結果について報告し、各学校の状況と比較させること、また、第3回域内研修において英語を用いた授業実践をまとめた報告書を提出させ、研修参加者で共有することで使用状況のさらなる促進につなげる。

⑦ 研修実施回数、研修受講者の人数

【小学校】

ア 研修実施回数・研修受講者数 8回・430名

イ 目標 H29：4回・330名、H30：11回・670名

ウ 手立て 事業計画に基づき各種研修を計画的に実施するとともに、英語教育推進リーダーの積極的な活用により市町村教育委員会での研修を充実させる。

【中学校】

ア 研修実施回数・研修受講者数 5回・353名

イ 目標 H29：4回・105名、H30：6回・360名

ウ 手立て 事業計画に基づき各種研修を計画的に実施するとともに、英語教育推進リーダーの積極的な活用により市町村教育委員会での研修を充実させる。

【高等学校】

ア 研修実施回数・研修受講者数 6回・162名

イ 目標 H29：6回・175名、H30：6回・175名

ウ 手立て 事業計画に基づき各種研修を計画的に実施するとともに、域内研修参加者の積極的な活用により各学校での研修を充実させる。

(3) 研修の体系と内容の具体

外部専門機関：宮崎大学教育学部、宮崎国際大学国際教養学部、南九州短期大学国際教養学科との連携を通じた研修の充実

(1) 外国語教育推進協議会

対象者：県教育委員会、市町村教育委員会の代表、外国語教育推進TT加配配置校及び小学校外国語専科加配配置校の校長、教務、加配教員

目的・内容：外国語教育の推進に係る連携強化のための協議

受講予定者数：40名

(2) 小学校外国語教育セミナー

対象者：各学校の中学年、高学年の学級担任

目的・内容：県内3会場で研修を行い、中学年の外国語活動及び高学年の外国語科の指導について理解を深める。

受講予定者数：240名・240名

外部専門機関との関わり：宮崎大学の准教授等による助言

(3) 英語枠採用教員等の資質向上研修

対象者：英語枠採用職員

目的・内容：外国語教育に係る専科指導の在り方等についての指導力向上

受講予定者数：20名・20名

外部専門機関との関わり：宮崎大学の准教授等による講義・演習

(4) 生徒の発信能力育成のための中高授業研究会

研修協力校：

対象者：県立学校及び中学校教諭等

目的・内容：中学校、高等学校の授業公開、中学校・高等学校の系統的なパフォーマンステストの実施、研究協議及び発信能力育成のための中高授業改善研究会

受講予定者数：県立学校55名、中学校170名（3ブロックに分けて実施）

評価方法：参加者へのアンケートの実施及び関係成果指標の目標値達成状況による有効性の検証

外部専門機関との関わり：新学習指導要領に関する講話・ワークショップ

実施内容：授業公開、研究協議、中高教員による合同協議

(5) 外国語指導助手の指導力等向上研修

対象者：JETプログラムにより招致している全ALT

目的・内容：外国語指導助手の指導力等向上

基調講演、講義、ティームティーチング等に関する実践発表及び協議（分科会形式）

受講予定者数：65名

評価方法：参加者へのアンケートの実施

外部専門機関との関わり：外部専門機関の講師（予定）による基調講演

(6) 中央研修受講者による域内研修の実施

対象者：小学校：中核教員 中学校・高校：未受講者

目的・内容：中央研修における内容

受講予定者数：小学校50名、中学校75名、県立学校60名

評価方法：参加者へのアンケートの実施

外部専門機関との関わり：外部専門機関の講師（予定）による基調講演

内容：2時間7セットの計3日間程度の研修

- ・中核教員に対して教師の英語力を測るテスト受検を義務づける。(中高対象)
- ・各種タスクやアクティビティなどの指導方法の理論的背景の理解を促進する。(中高対象)
- ・研修内容を生かした授業実践報告会を含む。(高校対象)

(4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月	外国語教育セミナーⅠ	宮崎大学
5月	外国語教育推進協議会① 外国語教育セミナーⅡ	宮崎大学
6月	域内研修：高① 外国語教育セミナー（中部・南部）	
7月	外国語教育セミナー（北部） 域内研修：小①②③ 域内研修：中① 域内研修：高②	
8月	域内研修：中②③ 域内研修：高③ 教職員の助成制度を活用した外部検定試験受検 英語枠採用職員等の資質向上研修	宮崎大学
9月		
10月		
11月	生徒の発信能力育成のための中高授業研究会（北部） 生徒の発信能力育成のための中高授業研究会（中部）	宮崎大学 南九州短期大学
12月	生徒の発信能力育成のための中高授業研究会（南部）	宮崎大学 南九州短期大学
1月	域内研修：高④ 英語枠採用職員等の資質向上研修 教職員の助成制度を活用した英検受検（小・中）	宮崎国際大学
2月	外国語指導助手の指導力等向上研修 域内研修：高⑤⑥	
3月	各校より平成31年度 CAN-DO リスト提出（中・高） 外国語教育推進協議会②	

【その他の取組】

- ・宮崎県高等学校教育研究会英語部会主催
「第4回宮崎県高等学校英語プレゼンテーションコンテスト」への支援

